

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店		公表日	令和7年2月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備 ・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%	・理学面、作業面、言語面に活用する教材教具はあるが、お子様のニーズの違いで提案までには至っていない。	・今後お子様にとって必要な場合は、具体物を準備し、提案していきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・児童指導員、保育士だけでなく、心理担当職員、機能訓練士（PT、OT）が在籍。お子様のニーズに応じて複数職員の訪問が可能な体制を整えている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・管理者、児童発達支援管理責任者、訪問支援員で業務について報告、連絡、相談する流れを徹底している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年一回の保護者向け評価表以外にも定期的なモニタリング、個別相談、訪問前後の聞き取りや報告の機会を保護者様の心配事や悩みを確認し、業務改善や支援の見直しにつなげている。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員間で業務の進捗状況、悩み、新しい試み(改善策)等がないか、日頃からコミュニケーションを密にとって確認し合っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・現在は同じグループ内の他店舗から、第三者目録での毎月の書類チェックや評価を聞く機会がある。	・現在は株式会社Smile Groupを超えての第三者による外部評価を行っていないが、今後必要に応じて検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	・職員の外部研修は積極的に進めている。株式会社Smile Group独自の研修を新入社員向けに実施（OFF-JT、OJT）。それ以外にも事業所内で対人支援に必要な研修を実施。	・今後も年間計画を基に、職員の資質向上を図るための研修を適宜行っていきたい。
適切 な 支	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングの中で、スマイル独自のアセスメントシート（日常生活動作、コミュニケーション、社会性、情緒面、通園先の活動や遊びの取り組み方等）の項目を保護者様にチェックし振り返っていただいた上で、お子様のつまずきのポイントを分析し、課題設定に反映している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・個別支援計画作成にあたっては、会議を実施し、訪問支援員の見立てや機能訓練士（PT、OT）、保育士、心理担当職員の意見を踏まえて、最善のアプローチや支援の方向性を検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	・保護者様向けのアセスメントシートと同様の項目で、訪問支援先の担当者様にチェックしていただき、客観的なお子様の見立てや課題設定に反映している。訪問時の話し合いや関係機関連携での情報共有を通して訪問先の支援方針を確認し、個別支援計画の作成につなげている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・必ず事前共有を行い、訪問前には前回の様子を踏まえて、今回の視点や検討事項のポイントを共有してから取り組んでいる。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・スマイル独自の発達段階を踏まえたアセスメントシートを基にお子様の現状把握に努めている。その上で、実際の行動観察を行い、人、環境要因、これまでの経験や本人の特性等による根本的な原因を見極めている。	

援 の 提 供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・ガイドラインを熟読し、お客様のニーズに必要な直接支援や間接支援を検討した上で、支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	11と同じ質問	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・訪問前には、児童発達管理責任者、訪問支援員、他職員(ニーズに応じた専門職)を交えて訪問支援先での活動内容から、どの部分に着目し支援の方向性を検討するか訪問支援員の役割を確認している。児童発達支援管理責任者は、訪問支援先と保護者様との関係調整の役割を担い、業務分担を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・訪問後には訪問支援員から訪問支援先での本人の成長や課題、支援の方向性、アプローチの仕方での気づきを情報共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	・訪問支援先の保育、教育理念や職員体制に伴う支援の仕方を考慮し、訪問を行っている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	・訪問実施後には、本人の課題に対する現状、職員の支援方法(直接支援を含めて)、訪問支援先と事業所との共有事項、今後の課題等、各項目の記録を作成し、次回取り組むことをまとめている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的にモニタリングを行い、本人の成長に伴う課題の達成度や、集団活動で出てくる課題の見直し等を検討している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・相談支援事業所とのサービス担当者会議は、児童発達支援管理責任者、訪問支援員、必要に応じて専門職が参画している。関係機関との会議では、児童発達支援管理責任者、訪問支援員、訪問支援先の園長はじめ主任、担任等、複数の職員の参画で実施している。	
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・本人を取り巻く関係機関や次の移行先(小学校等)との連携を必要に応じて取れる体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・移行先に訪問し、お客様の現状報告、これまでの支援で大切にしてきたこと、保護者様の心配事や願いを伝えている。 ・訪問支援同日に移行先の小学校教職員と訪問支援員が直接、話をする場を設け情報共有やお子様への相互理解を図ることもある。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	75%	25%	・職員の力量を高めるための外部研修は、積極的な参加を勧めている。	・現在は事業所内で専門性や質の向上を図るために、お客様への視点、アプローチの仕方を検討している。今後必要に応じて、外部の意見を取り入れる機会を設けていく。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0%	100%		・地域の協議会主催の研修会に参加しているが会議等の意見交換の場への参加は行っていない。今後改善が必要になる。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・お客様の成長だけではなく、本人の生きづらさ、つまづいている点は本人の特性によるものか、これまでの経験不足や発達段階によるものかを見極め、先の見通しを見据えて必要な課題や配慮事項を伝えている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・月一回、子育てセミナーと題し、月ごとのテーマを設けて勉強会やグループ相談(意見交換)の場を作っている。	
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時には、書面に従い、保護者様に説明を行っている。		
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	・利用開始前に訪問支援先への訪問や電話等により、事業の趣旨、訪問支援の目的、訪問支援員の役割、連携の仕方について説明をしている。		

保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・個別支援計画を作成するにあたり、保護者様の意向やお子様ご自身の訪問支援先への思いを聞き取る機会(アセスメント)を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・個別支援計画の支援課題に対してどのような支援内容で実施するか説明をし、書面に同意するサインをいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・定期的に個別相談日を設定しているが、適宜希望される場合には、個別相談の日を設定し実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・子育てセミナー(勉強会、グループ相談)を通して、保護者様同士の交流の機会を設けている。	・今年度はきょうだい参加するイベントの開催していない。次年度は家族行事を計画中である。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・お子様の悩みや心配事の相談だけではなく、保育所等訪問を通して、訪問支援先との関係を良好にするための相談に迅速に対応できる体制を整え、実施している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・株式会社Smile GroupのHP上に保育所等訪問事業の活動概要を掲載している。 ・携帯のコミュニケーションツールを通して、ご利用の保護者様との連携体制、情報発信を行っている。	・定期的な通信は、現在行っていない。今後検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・契約時には、個人情報使用同意書を用いて説明し、同意をいただいている。利用開始以降、個人情報に関する書類は鍵付きの書庫で厳重に管理している。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・お子様の聞き慣れた言葉や、発達段階に応じてジェスチャーを交えた意思確認、絵カード、写真、映像等を用いて視覚情報を補いながら意思の疎通を図る工夫をしている。 ・保護者様には口頭説明だけではなく、文面で要点を簡潔にまとめて説明する等、伝えたい内容が分かりやすいような配慮を心掛けている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	・訪問先の相談に対して、訪問支援員だけでなく児童発達支援管理責任者、機能訓練士(PT、OT)、心理担当職員が対応する体制を整え、必要に応じて行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	・実施後、同室、別室によるカンファレンスに加えて電話によるカンファレンス等、訪問支援先の実情にあわせて実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	・訪問後にお子様の状況、職員の支援方法や配慮事項にあわせて、訪問支援先と事業所それぞれの今後の役割について報告している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・秘密厳守を徹底し、お互いに知り得た個人情報の取り扱いには留意している。	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	・訪問支援先の意向を尊重しながら、相談に対して真摯に向き合っている。相談内容を事業所間で検討し、専門職の見解を基に助言へとつなげている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・会社全体として各種マニュアル作成に取り組み、管理職を中心に見直しの時期を決め、より良いマニュアルの策定に取り組んでいる。	・各種マニュアルを策定しているが、職員全体への徹底した周知や保護者様への周知や閲覧には至っていない。年間を通じた定期的な研修を通して、非常災害時への意識を高め、職員の心構えや対応力を育てていく。 ・今後は、様々な非常災害を想定した訓練を実施し、実践力をつけていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・年間を通じて想定される安全管理について精査し、管理職が中心になって研修を実施し、全職員への周知を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・訪問支援先でのヒヤリとする場面を想定し、直接支援の中でフォローしている。どのような状況で気になることあったか、職員での情報共有に努めている。	

心	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待研修を実施し、職員の虐待を見極める目を育てている。施設従事者としての虐待を許さない、しない、通告義務がある等の意識を高め、日々取り組むべきことを行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	100%	0%	・契約時において保護者様にやむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行っている。現在該当するお子様はいないため、実施していない。	